



「強運」と「ありがとうの花」



大谷翔平選手がアメリカ大リーグで3度目のMVP（最優秀選手）に輝きました。野球界最高レベルのアメリカ大リーグで3回もMVPに選ばれるなんて、とてつもなくすごいことです。そして、この大谷選手が、すすんでゴミ拾いをするというのは有名な話です。大谷選手は「ゴミを拾って、運を拾う」と言っています。大谷選手の並外れた活躍を見ていると、あのすさまじい実力もさることながら、強運の持ち主であることはまちがいありません。

そこで私は思いました。大谷選手の強運の秘密は、東栄っ子たちがよく咲かせる「ありがとうの花」とも関係があるのではないかと。「ゴミ拾い」は、まさに「ありがとうの花」です。すすんでゴミを拾う大谷選手を見て、周りの人たちの心に「ありがとうの花」が咲き、この選手を応援したい、惜しみなく協力したいと思うようになります。そして、ゴミを拾っている大谷選手自身の心の奥底にも、人の役に立っている自分にありがとうという「ありがとうの花」がたくさん咲いていて、嬉しくなって元気が湧いてきます。



こうして、周りからも応援され、心の底から元気が湧いてくる大谷選手は、ものごとがよい方向に進み、ますます活躍できるという好循環が生まれます。「ありがとうの花」が生む好循環。これが、大谷選手の強運の秘密と言えるのではないのでしょうか。

ということは、東栄っ子たちにも、強運を手にして大活躍できる素質が十分にあります。なんとって、東栄っ子たちはおそうじ上手で、そうじの時間に、ゴミやホコリをたくさん取ってきれいにして、みんなや自分の心に「ありがとうの花」をたくさん咲かせています。さらには、先日、20分放課の終わり頃に、ホコリがよくたまる階段下のスペースを、自主的にそうじをして「ありがとうの花」を咲かせている東栄っ子たちを見ました。

この子たちを見て思いました。ゴミやホコリを取るのには、そうじの時間だけではもったいないと。この子たちや大谷選手のように、いつでもどこでもゴミやホコリを見つけたら拾って、ゴミ箱に入れれば、ますますみんなや自分の心に「ありがとうの花」が咲き、好循環をつくることができるのではないかと。



そして、もうすぐ冬休み。冬休みにもとっても大きなチャンスがあります。お家の「大そうじ」です。ふだんなかなか取ることができないところのゴミやホコリを大量に取ることができます。お家でも、たくさんの「ありがとうの花」を咲かせられるチャンスです。ぜひ年末は、お子様がさらに強運の持ち主となるように「大そうじ」を手伝わせてあげてください。3学期は、さらなる強運を手にして、よりパワーアップした東栄っ子たちと、ますます幸せな東栄小学校にしていきたいと思えます。

令和6年も、皆様のおかげで東栄小学校に「ありがとうの花」があふれ、東栄小校区にもより一層広がりました。ここまでの「ありがとうプロジェクト」へのご協力に感謝いたします。誠にありがとうございました。よいお年をお迎えください。

(校長 中島学路)

